

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和7年度)

政策	7 防災・減災・県土強靱化			
施策	1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する			
方向性	③ 自助・共助の促進による地域の防災力の強化			
事業名	みんなでつくる「あんしん避難」環境づくり事業	事業年度	R8	年度～ 年度
部局名	総務部	課室名	総合防災課	
チーム名	被災者支援チーム			

1 事業実施の背景及び目的

全国で最も高齢化が進んでいる本県においては、災害関連死リスクの軽減が急務となっている。こうした状況を踏まえ、避難者の健康に配慮し、災害関連死を防ぐための資機材の整備を促進するとともに、避難所運営のノウハウを有する人材を育成することで、避難生活における良好な生活環境を確保する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	TKBで「かいてき避難」環境づくり応援事業	広域的な被災者支援に資するトイレ、キッチン、ベッド(TKB)やスポットクーラーの整備等を支援する。	45,000		
2	地域の「みんなで避難」環境づくりサポート事業	国のモデル事業「避難生活支援リーダー/サポーター研修」を活用し、国や市町村と連携して、避難所の生活環境の向上に取り組むことができる地域人材を育成する。	496		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			45,496	0	0
左の説明					
国庫補助金			30,000		
地域未来交付金(地域防災緊急整備型)					
県債					
その他					
一般財源			15,496	0	0

3 事業の効果把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	新たにTKB対応を行った市町村数(市町村)【成果指標】									
指標式	新たにトイレ、キッチン、ベッドのそれぞれに対応する資機材を全て保有した市町村の数									
出典	総合防災課調べ									
把握時期	当該年度4月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								3	3	3
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	事業により整備した資機材による地域イベントや訓練等の開催件数(件)【成果指標】									
指標式	事業により整備した資機材による地域イベントや訓練等の開催件数									
出典	総合防災課調べ									
把握時期	当該年度4月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								9	9	9
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和7年度)

政策	7 防災・減災・県土強靱化			
施策	1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する			
方向性	③ 自助・共助の促進による災害への対応力の強化			
事業名	災害に強い地域社会構築事業	事業年度	R8	年度～ 年度
部局名	総務部	課室名	総合防災課	
チーム名	調整・防災企画チーム			

1 事業実施の背景及び目的

本県では自然災害が激甚化・頻発化しており、想定を超える災害に対しては公助の限界も懸念される。また、県民の防災意識は高いとはいえない状況にある。このため、防災に関する基本理念や地域防災を担う各主体の役割等を規定する条例を制定するとともに、県民の防災意識を啓発する事業を実施し、災害に強い地域社会の構築を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	防災基本条例制定事業	秋田県防災基本条例(仮称)の制定に当たり、有識者等から意見を聴取するため、防災基本条例検討会議を開催する。	363		
2	県民防災意識向上事業	平時における県民の防災意識の向上を図るとともに、条例制定への理解や気運を高めるための啓発を行う。	15,918		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	16,281	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			16,281	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み
【指標Ⅰ】

指標名	最寄りの緊急避難場所等の確認を行っている県民の割合(%)【成果指標】									
指標式	最寄りの緊急避難場所等の確認を行っている県民の割合									
出典	県民意識調査									
把握時期	当該年度8月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								43	43	43
実績b							43			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	非常(時)持ち出し品の用意を行っている県民の割合(%)【成果指標】									
指標式	非常(時)持ち出し品の用意を行っている県民の割合									
出典	県民意識調査									
把握時期	当該年度8月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								26	27	28
実績b							25			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法
①指標を設定することができない理由**②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)**

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	7 防災・減災・県土強靱化			
施策	1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する			
方向性	③ 自助・共助の促進による地域の防災力の強化			
事業名	消防団の魅力発信・活性化促進事業	事業年度	R8 R10	年度～ 年度
部局名	総務部	課室名	総合防災課消防保安室	
チーム名	消防保安チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県内全市町村において消防団員数が条例定数を満たしていない上、団員減少と平均年齢の上昇が加速度的に進展している。将来にわたる地域防災力の充実強化を図るため、地域における防災活動の中核を担う消防団を活性化するとともに、その魅力を広く周知することによって加入促進につなげる。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	消防団の魅力発信・活性化促進事業	消防団に対する県民の理解促進及び団員の確保を目指し、消防団が行う先駆的な活動モデルを支援するとともに、その多様な活動を広くPRする。	6,632		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	6,632	0	0
国庫補助金					
県債					
その他		消防団の力向上モデル事業(国委託事業)	4,991		
一般財源			1,641	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	女性の消防団員数(人)【成果指標】									
指標式	県内各消防団の女性消防団員数									
出典	消防庁「消防団の組織概要等に関する調査」									
把握時期	翌年度7月									
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a								464	473	482
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	7 防災・減災・県土強靱化			
施策	1 気候変動等に対応した災害に強い地域社会を実現する			
方向性	④ 公助の推進による災害への対応力の強化			
事業名	消防広域化等推進事業	事業年度	R8	年度～ 年度
部局名	総務部	課室名	総合防災課消防保安室	
チーム名	消防保安チーム			

1 事業実施の背景及び目的

各消防本部の管轄人口が減少を続け、市町村の行財政運営が厳しさを増す中、消防体制の規模が縮小したり、消防職員の確保が困難になる事態が懸念される。これに対応するため消防の広域化に取り組む市町村等が臨時的に必要とする経費の一部を支援するとともに、中長期的な消防の連携・協力を実現するための取組を進め、県内消防力の維持・強化を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	消防広域化推進事業	消防本部間で異なる装備品の統一(標準化)など、消防広域化に伴い臨時的に必要な経費を補助する。	2,000		
2	消防連携・協力推進事業	各消防本部の連携・協力を推進するための高機能消防指令センターの共同運用に向けた調査・研究、課題の抽出を行う。	267		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	2,267	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			2,267	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名											
指標式											
出典											
把握時期											
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
目標a											
実績b											
b/a											

【指標Ⅱ】

指標名											
指標式											
出典											
把握時期											
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
目標a											
実績b											
b/a											

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

消防広域化や連携・協力の推進には、合意形成に向けて長期間の検討を要するため、年度ごとの指標評価にはなじまない。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

当面の目標として、令和18年度までに全県一区で消防指令センターを共同運用することを目指し、各消防本部における進捗状況を把握する。

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和7年度)

政策	10 その他政策			
施策	1 その他目指す姿			
方向性	① その他			
事業名	秋田県ブランド確立事業	事業年度	R8 R9	年度～ 年度
部局名	総務部	課室名	広報広聴課	
チーム名	調整・広報報道チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県内外に対する魅力発信に努め、資源の価値最大化等を図ってきたが、統一的なブランドイメージが無いため、分野ごとの取組にならざるを得なかった。本事業により、「秋田県ブランド」を確立し、より一体的・戦略的な広報を行うことで、誘客促進・県産品の消費拡大等の具体的な行動変容の実現を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和8年度 予算額	令和7年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	秋田県ブランド確立事業	県民が郷土に誇りを持ち、国内外から選ばれる秋田を実現するため、県の新たなブランドの確立に向けた取組を実施する。	111,954		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			111,954	0	0
左の説明					
国庫補助金	地域未来交付金(地域未来推進型)		55,314		
県債					
その他					
一般財源			56,640	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名											
指標式											
出典											
把握時期											
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
目標a											
実績b											
b/a											

【指標Ⅱ】

指標名											
指標式											
出典											
把握時期											
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	
目標a											
実績b											
b/a											

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

他県の事例からも、新たなブランドの確立には一定の期間を要することから、令和8年度に実施する「現状調査」の結果を基準値として継続的に調査を行い、5年経過後の到達目標を設定する。よって指標の設定が令和8年度以降となるため。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

ブランド自体が浸透(独自調査により把握)することによる、経済効果(観光庁等が公開する統計数値から把握)を見込んでいる。